

『VIEW21』高校版・2019年度「実践AL」授業デザインシート

【教科・科目】	地歴公民 日本史B
【分野・単元】	第Ⅱ部 中世 第4章 中世社会の成立 3 武士の社会
【テーマ・作品】	武士の社会がどのように形成されていったか
【設定時数】	全4時間(今回の取材対象は2時間目の授業)
【単元の目標】	知識を活用しながら協働的・対話的に歴史の本質を考えるを通して、「武士の社会」について構造的に理解する。 歴史から先哲を学び取り、自己と結びつけることで、歴史への興味・関心を高める。

時数	学習内容	自校の生徒の特性を踏まえた各時間における教育目標(身につけさせたい資質・能力)	左記の資質・能力の「学力の3要素」への分類	授業の大まかな流れ	授業における3つの視点の学びに対する指導内容・教師の配慮			育成を目指す資質・能力の評価方法
					主体的な学び	対話的な学び(教師による場づくりへの配慮)	深い学び(教師による思考の活性化・深化への配慮)	
1	武士の社会①「北条氏の台頭」「承久の乱」「執権政治」 Aターム ○テーマ「もし、みなさんの生きる社会が、生き方の選べない社会だったらとしたら…」 ○問「鎌倉幕府にとって、将軍はどのような存在であったか」	●Aタームの活動を通して学び方を身につけて、学びの活動に前向きに取り組んでいる。 ●基礎的・基本的な知識が定着している。	「知識」「技能」 「主体性」	①導入…テーマと問いの確認。必ず、生徒の中にあるものから出発する。 ②概観する ・「400字で読むあらすじ日本史(小和田哲男 宝島社新書)」から今日の範囲に該当する箇所のプリントを読む。グループでじゃんけんをし、負けた人から時計回りに丸読みをする。負けた人は400字全て読み終わったら着席する。 ③情報を整理する ・「整理シート」にグループで取り組む。 ・終了したら「Aタームまとめプリント」に取り組む。 →今日の授業内容について、小テーマごとに「中学生にわかるように」情報を精選してわかりやすくまとめ直しをする。 ④解答と解説…パワーポイントを使用し、講義による解答と解説。 ⑤ふりかえり ・「復習プリント(一問一答形式の復習テストと、授業の振り返り)」に取り組む	●授業で「学びの流れ(概観→整理(精選)→補足・確認)」を繰り返すことで、学び方を学び、自身で学びのサイクルを回していけるようになる。 (通年の目標)	●班で協力して活動できるか。 ●足りない部分(学びに向かう姿勢、基礎的・基本的な知識など)をお互いに補い合っているか。	●教科の内容を手段や視点を変えて何度も繰り返し、自身でアウトプットしながら精選してまとめる中で知識を構造化していく。	・Aタームまとめプリント ・振り返りシート
2	武士の社会①「北条氏の台頭」「承久の乱」「執権政治」 Bターム ○テーマ「もし、みなさんの生きる社会が、生き方の選べない社会だったらとしたら…」 ○問「鎌倉幕府にとって、将軍はどのような存在であったか」	●難しい問いにも、協力しながら粘り強く前向きに学びに取り組んでいく姿勢。 ●Aタームで整理した知識を活用する過程で知識を構造化している。 ●歴史の本質を学ぶ中でテーマについて学び(概念化)、先人の哲学を自分の生き方やキャリアにどう生かせるかを考え、歴史と自己を結びつけようとしている。	「思考力」「判断力」「表現力」 「協働性」「多様性」	①導入…テーマと問いの確認。必ず、生徒の中にあるものから出発する。 ②確認する…扱う範囲の教科書をじゃんけんして負けた人から丸読みする。 ③深める ・「資料プリント」に取り組む、問いへの解答をグループごとに作成する。(問いは東京大学の入試問題をもとに作成。) →グループの解答はA3の用紙に記入して提出。 ④共有する ・各グループの解答を共有し、必須の要素や解答の流れ(ストーリー)を確認。 ⑤ふりかえり ・学んだことをもとにテーマに立ち返って、振り返りシートを記入。	●「テーマ」や「問い」を通して歴史の本質から「先哲」を学び取り、教科と自身を結びつけることで、学びへの意欲や教科への興味・関心を高める。 (「ラーン・クラフティング」という意識)	●「じゃんけん」を取り入れて、チームとしての意識を高めていく。 ●多少の脱線は許容し、意見を出したり一人ひとりが話ができることを目指す(話が逸れても本筋にまどすことができるようになればいい)。	●知識を活用して「問い」から歴史の本質を考えることを通して、知識を構造化・概念化していく。 ●「」構想チャート	・振り返りシート ・テスト出題時の解答の様子(Bタームで取り組んだ問いをそのままテストに出題。生徒は授業後、共有した解答や採点基準をもとに自身の班の解答を修正してテストに臨む。その過程をきちんとこなしているかどうかを生徒の解答から評価する。) ・生徒の取り組みの様子
3	武士の社会②「武士の生活」「武士の土地支配」 Aターム ○テーマ「揉め事が起きた時、どう解決したらいいか」 ○問「鎌倉時代の武士(地頭)と荘園領主はどんな関係だったか」	●Aタームの活動を通して学び方を身につけて、学びの活動に前向きに取り組んでいる。 ●基礎的・基本的な知識が定着している。	「知識」「技能」 「主体性」	①導入…テーマと問いの確認。必ず、生徒の中にあるものから出発する。 ②概観する ・「400字で読むあらすじ日本史(小和田哲男 宝島社新書)」から今日の範囲に該当する箇所のプリントを読む。グループでじゃんけんをし、負けた人から時計回りに丸読みをする。負けた人は400字全て読み終わったら着席する。 ③情報を整理する ・「整理シート」にグループで取り組む。 ・終了したら「Aタームまとめプリント」に取り組む。 →今日の授業内容について、小テーマごとに「中学生にわかるように」情報を精選してわかりやすくまとめ直しをする。 ④解答と解説…パワーポイントを使用し、講義による解答と解説。 ⑤ふりかえり ・「復習プリント(一問一答形式の復習テストと、授業の振り返り)」に取り組む	●授業で「学びの流れ(概観→整理(精選)→補足・確認)」を繰り返すことで、学び方を学び、自身で学びのサイクルを回していけるようになる。 (通年の目標)	●班で協力して活動できるか。 ●足りない部分(学びに向かう姿勢、基礎的・基本的な知識など)をお互いに補い合っているか。	●教科の内容を手段や視点を変えて何度も繰り返し、自身でアウトプットしながら精選してまとめる中で知識を構造化していく。	・Aタームまとめプリント ・振り返りシート
4	武士の社会②「武士の生活」「武士の土地支配」 Bターム ○テーマ「揉め事が起きた時、どう解決したらいいか」 ○問「鎌倉時代の武士(地頭)と荘園領主はどんな関係だったか」	●難しい問いにも、協力しながら粘り強く前向きに学びに取り組んでいく姿勢。 ●Aタームで整理した知識を活用する過程で知識を構造化している。 ●歴史の本質を学ぶ中でテーマについて学び(概念化)、先人の哲学を自分の生き方やキャリアにどう生かせるかを考え、歴史と自己を結びつけようとしている。	「思考力」「判断力」「表現力」 「協働性」「多様性」	①導入…テーマと問いの確認。必ず、生徒の中にあるものから出発する。 ②確認する…扱う範囲の教科書をじゃんけんして負けた人から丸読みする。 ③深める ・「資料プリント」に取り組む、問いへの解答をグループごとに作成する。(問いは東京大学の入試問題をもとに作成。) →グループの解答はA3の用紙に記入して提出。 ④共有する ・各グループの解答を共有し、必須の要素や解答の流れ(ストーリー)を確認。 ⑤ふりかえり ・学んだことをもとにテーマに立ち返って、振り返りシートを記入。	●「テーマ」や「問い」を通して歴史の本質から「先哲」を学び取り、教科と自身を結びつけることで、学びへの意欲や教科への興味・関心を高める。 (「ラーン・クラフティング」という意識)	●「じゃんけん」を取り入れて、チームとしての意識を高めていく。 ●多少の脱線は許容し、意見を出したり一人ひとりが話ができることを目指す(話が逸れても本筋にまどすことができるようになればいい)。	●基礎的・基本的な知識を活用しながら習得する。 ●知識を活用して問いを考えることを通して、知識を構造化・概念化していく。	・振り返りシート ・テスト出題時の解答の様子(Bタームで取り組んだ問いをそのままテストに出題。生徒は授業後、共有した解答や採点基準をもとに自身の班の解答を修正してテストに臨む。その過程をきちんとこなしているかどうかを生徒の解答から評価する。) ・生徒の取り組みの様子